

JICA (独立行政法人 国際協力機構) による現場視察 が実施されました

平成23年台風12号で発生した大規模斜面崩壊で河道閉塞が発生し、紀伊山系砂防事務所でその対策を行っている赤谷地区（奈良県五條市大塔町）において、JICA(独立行政法人 国際協力機構)が実施する研修『“インフラ(河川・道路・港湾)における災害対策(A)コース”』による現場視察が実施されました。

開発途上国から来られた研修員の方々は、各国においてインフラ整備の中心となって働く技術者や防災担当官などであり、日本の技術や知識を得るために担当者の説明に熱心に耳を傾けられました。



- 実施日:平成29年8月15日(火)
午後1時～午後2時
- 場 所:奈良県五條市大塔町地先
(赤谷地区)
- 参加者:研修員 他 計11名
(カンボジア、チリ、メキシコ、ミャンマー、ネパール、サモア 6カ国)
紀伊山系砂防事務所
(木村副所長、柳谷建設監督)



【 見学状況 】

研修員からの質問

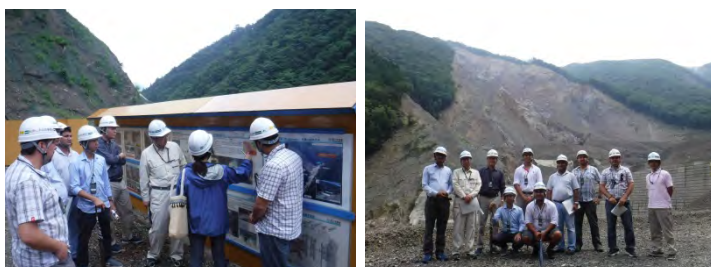
- ・ソイルセメントとはこういったものか
- ・湛水池の水処理はどうしているのか
- ・構造物の瑕疵担保期間はどれくらいか
- ・契約保証はどのようなになっているのか

研修員の感想

崩壊地や砂防堰堤の見学や説明をしていただきとても有意義な研修になりました。
ありがとうございました。



【 質問する研修員の方々 】



【 現場説明状況 】

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所 工務課
〒637-0002 五條市三在町1681
TEL 0747-25-3110 (代表)